

地域との交流行事

一緒に遊んで一緒に食べよう!～鮎ってどんな魚?～



今年度に入ってすぐ、
きりん組の子どもたちが
鮎の稚魚を那珂川に放流する
体験をさせてもらったことで、
『子どもたちに鮎の成長を知ってほしい!』
『食べるところまでやらせてあげたい!』
と保育者から声があがり、
今回の行事が始動しました。



<鮎のにおいをかいでみよう>



「鮎って、スイカとキュウリのにおいがするんだよ」と漁業協同組合の方に教えてもらい、においをククン!!
「くさ〜い!!」という子もいれば、
「うん!! キュウリのにおいする〜!!」という子も◎
五感をフルに働かせている姿がありました♡

<鮎のつかみどりコーナー>



大きいプールと小さいタライ、年齢に合わせてつかみどりの場所を用意しました。幼児組さんは全身を使ってダイナミックに鮎を追いかけて、乳児組さんはそお〜と触って、子ども達のペースで鮎との触れ合いを楽しんでいました。

<鮎を見てみようコーナー>



水槽の中に生きている鮎を入れて、ゆっくり見られるコーナーを設置しました。
小さいクラスの子も達も、ジ〜っと水槽の中をのぞいて「かわいいね♡」と先生に伝えたり、指差しで魚を追ったりする姿がありました(^^♪

<鮎の塩焼きコーナー>



鮎が串に刺さっていく様子を見て「かわいそう…」とつぶやく子もいましたが、「だから(命を)いただきます”って言うんだよ」とMIMAMORI隊の方が教えてくれました。子ども達の中で“いただきます”の言葉の意味に気付いた瞬間だったように思います。
「いいにお〜い!!」「早く食べたい!!」と串に刺さった鮎にかぶりつくきりん組さんでした。(いちご組〜うさぎ組の子ども達も、ほぐしてもらった鮎をおいしくいただきました♪)



地域の方のご協力のもと、子ども達は『鮎』に親しみをもって過ごすことができました。
ありがとうございました!!

地域の協力団体

那珂川町漁業組合

MIMAMORI隊

林屋